

第2回 公共施設等マネジメント推進検討会

— 議事録（要旨） —

○日時：令和5年8月9日（水）13時30分～15時30分

○場所：香南市役所本庁舎3階 303・304会議室

○出席者：（委員）市長 濱田 豪太

副市長 別府 誠

教育長 入野 博

生涯学習課 山崎課長

企画財政課 西内課長

防災対策課 岡林課長

住宅政策課 浜田課長

高齢者介護課 都築課長

契約管財課 岩田課長

（事務局）企画財政課 近藤補佐

契約管財課 別役補佐

株式会社 GPMO 神原、山本、高橋

○議題：（1）業務計画書（工程表を含む）の確認について

（2）検討会及び作業部会における提出資料について

（3）関係各課に対する意向調査資料（ヒアリングに係る事前調査）について

（4）方針（案）のたたき台について

1. 開会

事務局 開会宣言

2. 市長挨拶

濱田市長 市長挨拶

3. 議事

（1）業務計画書（工程表を含む）の確認について

以下の項目について、事務局から説明を行いました。

①契約時の協議内容について

②事業計画〔業務計画書（工程表を含む）〕について（別紙1参照）

（2）検討会及び作業部会における提出資料について

以下の項目について、事務局から説明を行いました。

- ①検討会における提出資料と作業部会に対する指示について（別紙2参照）

上記の説明に対して、委員より以下の質疑・意見等がありました。

【意見】方針は令和5年度中に決定し、住民の意見を入れながら計画を決めていく。

【意見】第3回検討会から使用料の考え方について協議するとしたら、現在の使用料が適正かどうか算定基準の精査も必要となってくる。

→【事務局】使用料の算定基準については、セグメント分析や他市事例調査等を実施して、検討を進めていくための資料を作成する。担当課からもヒアリングや資料により情報提供してもらいたい。

(3) 関係各課に対する意向調査資料（ヒアリングに係る事前調査）について

以下の項目について、事務局から説明を行いました。

- ①施設カルテの進捗状況について
- ②適正配置判断基準について
- ③公共施設に係る各課ヒアリング及び所管課意向調査案について（別紙3参照）

上記の説明に対して、委員より以下の質疑・意見等がありました。

【意見】（各課ヒアリングと事前の意向調査を実施することについて）少ない時間で精査できるかどうか分からない。施設利用者がいるので、課だけで判断できないところがある。

→【事務局】現時点でわかる範囲を答えてもらい、その都度ブラッシュアップすれば良いと考える。

【意見】判断できないという答えなども含めて、現状を聞かせて欲しいということ。

【意見】施設、性質、類型によって何が（判断基準の）キーになるかということがわかるようにして、全体として方向づけしていくというのも方針に入ってくるのではないか。

→【事務局】市としての方針は、この検討会でデータと政策的なものも出てくると思う。そういったものを含めて作り上げていくようにしたい。その上で、検討の経緯が継続されないと意味がない。全庁的に考えるという基盤を作らないといけないと考える。

(4) 方針（案）のたたき台について

以下の項目について、事務局から説明を行いました。

- ①方針（案）のたたき台について（別紙4参照）
- ②数値的なデータの算定の手法等について（資料1、2、3、4参照）

上記の説明に対して、委員より以下の質疑・意見等がありました。

【意見】これから施設再編のスタートになる。長期的に先送りしないで、今取り組まなければならない。

→【事務局】（マネジメントに取り組まなければならない）状況は今の財政状況や人口の下落状況から見て、急激に高まってくると思う。

【意見】現在学校の規模適正化をやっていて、一緒にやるいい機会なんだという気持ちで、事務局には率直な今の思いを伝えたい。

【意見】施設分析の結果、不足する施設の増加もあっていいと思う。PFIの利用、民間活力の利用なども検討し、マイナス面だけでなくプラス面も検討に入れたい。

→【事務局】民間活力の導入（PFI・PPP）といった要素も入れていきたいと考えている。

【意見】施設類型について、機能別に施設が多いのか少ないのかを分析するようになっていく。ロードマップを描くのは担当課なので、担当課が動きやすい方針や適正配置にしたいと事務局は考えている。計画は更新していかないと機能しない。進捗管理が必要なので、計画策定後も検討会の継続が必要であると考えて意見が聞きたい。

【意見】壊したら作らないといけない部分も出てくるので、数値目標の上下は考えられる。状況に応じて説明が必要である。財政も含めて方針決定し、継続していく方向性でいきたい。

【意見】他市の市営住宅に対する考え方などを教えてほしい。

→【事務局】市営住宅に対する他市の取り組みについて、公営住宅の長寿命化計画がその通り運用されている自治体は少ないように思う。市単独で維持管理する形で、最近では指定管理、PFIで住宅を建設するなど、新たな官民連携の動きが見え始めている状況である。

【意見】香南市は施設数の構成比で見ても3割を超える市営住宅があるので、どうするかによって大きく変わってくると思う。

【意見】公営住宅はPFIで建てているところはあるのか。

→【事務局】公営住宅はいろんなところで検討されている。県内でいうと中土佐町や津野町などが、新たに移住されてきた方の受け皿のようなPFIをやっている。

【事務局】次回は10月上旬に第3回検討会を予定しており、施設カルテの分析結果、セグメント分析の結果、使用料についての提案、各課ヒアリングの結果と、方針案をとりまとめ若干ブラッシュアップしたものを提示できるかと思うので、それらを協議事項としたい。

4. 閉会

事務局 閉会宣言

【資料】：(別紙1) 業務計画書(工程表を含む)

(別紙2) 検討会における提出資料と作業部会に対する指示について

(別紙3) 公共施設に係る所管課意向調査(案)

(別紙4) 方針(案)のたたき台

(資料1) 香南市_施設評価の実施について(案)

(資料2) 長寿命化における耐用年数の考え方(案)

(資料3) ライフサイクルコストシミュレーション手法の概要

(資料4) 適正配置計画判断基準案_検討中

以上